

平成 28 年 6 月 3 日

嬉野市議会

議長 田口 好秋 様

文教福祉常任委員会

委員長 山口 忠孝

文教福祉常任委員会報告書

平成 28 年 3 月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第 107 条の規定により報告する。

付託事件名

教育問題について

調査の理由

市内小中学校施設の営繕費は一括して予算化されているが、具体的に個々の学校がどのような問題を抱えているのか、その現状はどのような状態なのか現地視察を行い、現場の職員の声を聴き、今後の学校施設のありかたについて検討していく材料になればと考え調査を行った。

調査の概要

4 月 19 日、市内の小中学校を視察訪問。但し、昨年改築した塩田中学校は除外。午前中は嬉野地区を回り、昼は嬉野給食センターで学校給食の試食を行い、午後から吉田・塩田地区の各学校で、それぞれ説明を受けた。

○嬉野中学校

- ・保健室や校舎の継ぎ目からの雨漏り
- ・体育館横通路の屋根の劣化
- ・生徒出入り口付近の結露がひどい
- ・ベランダ外壁のモルタルの一部が剥離

○嬉野小学校

- ・庇のモルタル剥離(今年度改修工事予定)
- ・プレハブ農具倉庫の土台との接点がさびて破損状態
- ・音楽室の防音シーートの剥離
- ・プールの浄化装置機械の更新

○大野原小中学校

- ・駐車場の確保(グラウンドの一部に車を止めている。道路向かい側の駐車場は未舗装のため)
- ・正面玄関の手洗い場の老朽化
- ・中学校生徒入口付近は雨が吹き込む
- ・プールへの通路が急こう配の坂道

○轟小学校

- ・放送設備の老朽化
- ・職員トイレや体育館トイレのタイルが一部剥離
- ・プール設備の改修

○吉田中学校

- ・武道場の改修
- ・体育館天井照明器具の昇降装置が不具合
- ・フェンスが低いため、ボールが川に落ちやすい
- ・グラウンドのトイレの改修
- ・小学校との境の杉の木の伐採と石垣が膨らみ崩壊の恐れが見られる

○吉田小学校

- ・電源室横の大木の伐採
- ・プール防水シート剥離で半分が使用不可(数年前から)
- ・グラウンド出入口付近のポールの不具合と改修
- ・体育館通路の屋根の安全性
- ・グラウンド側バルコニー丸柱が反り返ってきている

○谷所分校

- ・入口庇の劣化

○五町田小学校

- ・体育館南側の庇が劣化
- ・体育館横の屋外トイレ改修
- ・プールのトイレや更衣室の改修
- ・講堂跡地の整備
- ・中庭の改修と整備

○塩田小学校

- ・校内奥の公道の角にミラーの設置
- ・プールの防水シートの剥離やろ過装置操作液晶盤の劣化
- ・体育館ステージの看板の昇降機の設置

○久間小学校

- ・廊下の継ぎ目からの雨漏り
- ・体育館トイレの改修
- ・プールの改修

○大草野小学校

- ・木材の大型遊具の老朽化
- ・放送設備の老朽化
- ・第2運動場の砂が側溝から付近の田んぼへ流出

委員会の意見

今回、教育部長も同行し各学校を視察してみて感じたところは、見た目は耐震工事もなされ何も不具合はないようだが、仔細に見ていくと様々な問題を多く抱えているようだった。上記に述べている以外にも、学校現場からは多くの改善要望がなされているが、なかなか要望通り対応がなされていないのが現状で、現場の職員の声にも力がこもっている感じが感じられた。

問題は財源であり、当局も各学校の事情は十分に把握されているが、なかなか対応できないジレンマがある。限られた予算の中でどこを優先的にやっていくのかが問題になるが、子どもたちの安全を第一に考えるのが得策だと考える。

学校という施設は、ただ単に子どもたちへの教育施設だけではなく、地域でのコミュニティの中心や災害時の避難所としての役割も期待されてきている。このような観点から考えると、これからの整備の進め方や予算の配分については考慮し直す時期にきていると思われる。

プールの問題はどの学校からも聞かれたが、教育のどこに力点を置くのかが今後問われてくると考える。